

150周年記念式典

12月9日（土）、本校150周年記念式典・集会を行いました。

まず、児童参加の記念式典です。私のお話、記念行事実行委員長さんのお話があり、記念品が贈呈されました。お祝いセレモニーでは、各クラスで作った個性豊かなダルマに目を入れました。



続く記念集会では、児童実行委員長の話があり、実行委員さんから昨年度より続いてきた児童実行委員会の取り組みについて紹介がありました。スローガン「かたいきずまで 150（いこう）釜小 これからも」や、マスコットの「かまカメ」について話がありました。

「釜小150年のあゆみ」と、校内で今年度取り組んできた地域を題材にした学習についてのビデオを視聴しました。緑のボールをパスして、受け取ったクラスや学年が学習したことを紹介しました。最後にパスを受け取った私が、ボールでかまカメを完成させて「みんなの思いが繋がって、かまカメになりました！150周年おめでとう！」と言いました。続いて、宿御囃子保存会の皆様によるお囃子の実演がありました。お祭りさながらの笛、太鼓とともに、獅子舞や福の神様、おかめさんなどが登場し、子どもたちは大喜びでした。こそって近づき、頭をかじられたり手をかじられたりして福を授かっていました。会場はにぎやかなお囃子の音色とともに、熱気と笑顔でいっぱいになりました。私もお獅子に頭をかじってもらいました。うれしい！



児童の下校後、お客様を招いての記念式典を行いました。実行委員長さんのお話、私のお話、PTA会長さんのお話、記念品の紹介や子どもたちの取組みのビデオ、実行委員相澤さんからの釜利谷の昔の様子のお話がありました。委員長さんのお話でも私のお話でも、釜利谷小学校が自然に150年間続いてきたのではなく、支えて存続に努めてきた地域・保護者の方々の努力があってこそこの日を迎えているのだということを伝えられたのではないかと思います。そして本校の卒業生でもあるPTA会長さんと実行委員相澤さんのお話には、地元や地域の方々、母校への愛が込められていたように思います。

お帰りのお客様方からは、「素晴らしかった」「いい式典だった」というお言葉をたくさんいただきました。150周年記念事業実行委員会をはじめとする地域・保護者の皆様のご協力、子どもたちと本校職員による心を込めたお祝いの取り組みにより、すばらしい記念の1日をつくり上げることができました。